

人間性豊かに主体的に生きる児童の育成 — 地域教材の再構築と授業への活用を通して —

I 研究の内容

1 研究の具体的内容と方法

- (1) 児童の実態の把握 (意識調査)
- (2) 理論研究 (関係図書を用いての学習 地域教材に関わる講義を聞く。)
- (3) 臨地研修
- (4) 地域教材・人材の整備
 - ア 地域教材・人材の洗い出しと見直し
 - イ 各学年の教科領域との関連表・活用実践事例集を作成
- (5) 研究授業
 - ア 日々に役立つ授業を実践
 - イ 外部講師にきていただいた授業は全員で参観
- (6) 図書館教育の充実
- (7) ブロック研究 (低学年ブロック 高学年ブロック) や 全体研究

2 研究実践

- (1) 実態調査の実施
 - アンケート調査実施 課題と手立ての確認
- (2) 理論研究 「甲斐国史」「広報えんざん」「塩山の昔話」など用いて学習会
- (3) 臨地研修
 - 職員臨地学習
 - ・ 6 / 9 学校周辺の自然・史跡観察
 - ・ 7 / 6 学校～乙木田遺跡～大樹院～ネズの木～福応寺までの史跡・自然観察 (講師 田辺 一さん)
- (4) 地域教材・人材の整備
 - 各学年の地域教材の活用実践に基づき事例集を作成 (以下は主な例)
 - ・ 5 / 1 3 1～4年生 春の校外学習 玉宮の自然 (講師 長田義己さん)
歴史 (講師 校長・担任)
 - ・ 5～6月 1・2年生 生活科 3年生 社会科 地区探検
玉宮の自然・歴史
 - ・ 5 / 1 0 5年生 総合的な学習 糶まき (講師 古屋まさ子先生)
 - ・ 6 / 3 5年生 総合的な学習 田植え (講師 古屋東一郎先生)
 - ・ 7 / 1 3 5年生 総合的な学習 米作りについて (講師 雨宮昭夫先生)
 - ・ 1 0 / 4 5年生 総合的な学習 稲刈り
 - ・ 1 0 / 1 3 5年生 総合的な学習 稲こき (講師 宿沢斉先生)
 - ・ 1 1 / 9 4年生 社会科 昔の暮らし (講師 雨宮昭夫先生)
 - ・ 1 1 / 1 4 6年生 国語科 短歌と俳句をつくろう (講師 雨宮昭夫先生)
 - ・ 1 1 / 2 5 4年生 社会科 先人の遺業 (せぎ) (講師 雨宮昭夫先生)
 - ・ 1 2 / 9 4年生 社会科 玉宮の昔 (講師 雨宮昭夫先生)
 - ・ 2 / 2 3 3・4年理科 野外活動 玉宮の自然 (講師 長田義己さん)
 - ※ この他, 他教科・道徳・特活・児童会行事 (ウォークラリー集会・玉宮の自然

を守ろう集会)・学校行事等による実践を積み重ねてきている。

○人材系統表作成 低高別に作成

○一人一実践

- ・ 9 / 14 4 学年 社会科 授業実践「甲州市の昔の暮らし」
- ・ 10 / 5 2 学年 生活科 授業実践「みんなあつまれやっほいほい」
- ・ 12 / 14 3 学年 生活科 授業実践「お店調べ」
- ・ 2 / 1 5 年生 社会科 授業実践「工業の今と未来」

(5) 研究授業

- ・ 11 / 2 1 年生 国語科「むかしばなしがいっぱい」(小林俊彦指導主事)
- ・ 12 / 7 6 年生 社会科「玉宮大辞典をつくろう」(清水弘美指導主事)

II 成果と課題

1 成果

<児童>

- 子どもたちにとって一番身近な玉宮の素晴らしさから授業に取り組むことは、ふるさと玉宮に誇りを持って生きていく礎となり、今後の児童自身の支えとしても期待のもてるものになった。
- 児童集会や学年の授業の成果発表の場があり、他学年にも良い影響が得られた。
- 6年生は新しい玉宮の姿を知ることができたので、玉宮を見直すいい機会になった。歴史に興味関心の高い子どもたちが、自分たちが知る日本の歴史の中に玉宮も確実に息づいていたということを知ること、玉宮について認識を新たにするとともに、日本の歴史についても実感を持ち、深く理解する機会になったのでとてもよかった。

<教師>

- 学級担任全員が地域素材を使った授業実践を行い、研究授業を2本実施でき、全職員の努力や、指導に来てくださった先生方の助言・地域講師の支援により実に多くの学びがもたらされた。
- 学んだこと・驚いたこと・知ったことを、少しでも多く子どもたちに伝えたいという教師自身の熱い思いが、授業の原点である。そのような思いをもてたことで、子どもたちがのびたのであろう。
- 教師にも授業力がついたと思う。

2 課題

- 「玉宮」の情報交換会などを気軽に行い、相互に教材化できそうなことを学ぶ機会がさらに増えるとよい。
- 新たな人材発掘が必要だと思った。まだまだたくさんの方がいて、色々な興味深い話をしてくださると思う。そのことが子どもたちの意欲を引き出したり、玉宮への思いを深くしてくれるのだと思うと、大切なことだと考える。
- 小規模校であるからこそ、支えていただくべきは、家庭・地域である。

III 成果物

- 各学年 地域教材関連表・人材関連表
- 各学年 実践事例集
- 各学年 実践映像(外部講師授業) 他 (研究主任 吉岡美奈子)